

令和3年度安芸地域アクションプランの
追加、削除、拡充等（予定項目）

安 芸 地 域 本 部

令和3年2月16日（火）

令和3年度地域アクションプランの追加、削除等（予定項目）

地域アクションプランへの支援の方向性

(1) 新規事業の掘り起こしと担い手の育成

- ①発掘支援型アドバイザーにより、地域アクションプランへの位置付けを目指す取り組みを掘り起こし（R2～新規）
- ②地域が主体となって実施するビジネス研修への支援により、産業振興の取り組みを牽引する担い手を育成

(2) 地域への経済波及効果の大きい案件の課題解決に向けた支援の強化

- ①課題一貫支援型アドバイザーにより、地域への経済波及効果が大きい案件に対し、全体的な課題の整理・分析及び解決策の検討を一貫して支援（R2～新規）
- ②課題解決型アドバイザーにより、個別課題の解決を支援

地域アクションプラン数 R2年度 217件 → R3年度 223件（+6）

	R2年度	R3年度				A P 数
	A P 数	増減			A P 数	
		追加	削除	統合・分割		
安芸	31			▲ 1	▲ 1	30
物部川	25	1			1	26
高知市	24		▲ 1		▲ 1	23
嶺北	25					25
仁淀川	33	1			1	34
高幡	37	4			4	41
幡多	42	2			2	44
合計	217	8	▲ 1	▲ 1	6	223

○地域産業クラスタープロジェクト R2年度 18件 → R3年度 19件（+1）

安芸地域アクションプラン項目（第4期計画（R2年度））と第4期

No.	現在(令和2年度)	室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村
		11	5	10	7	7	8	4	5	5
1	安芸地域のユズを中心とした中山間振興	●	●	●	●	●	●	●	●	●
2	日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト	●	●	●	●	●	●			●
3	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興			●						
4	白玉糖の生産拡大と新商品の開発									●
5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化	●		●						
6	馬路の林業加工品の販売促進								●	
7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大	●		●	●	●	●			
8	室戸海洋深層水による地域産業の推進	●								
9	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大	●								
10	室戸市中心市街地の活性化	●								
11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化		●							
12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興			●						
13	有害鳥獣等を活用したペットフードの開発と販路開拓			●						
14	地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大				●					
15	田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用					●				
16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み					●				
17	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進						●			
18	地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化									●
19	安芸地域の観光振興の推進	●	●	●	●	●	●	●	●	●
20	日本遺産を活用した中芸地域の活性化				●	●	●	●	●	
21	室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興	●								
22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進		●							
23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進			●						
24	DMV(デュアル・モード・ビークル)を活用した観光振興	●		●						
25	奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大				●					
26	安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化						●			
27	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大							●		
28	椎名集落活動センターたのしいなを拠点とした室戸市椎名地区の活性化	●								
29	集落活動センターなかやまを拠点とした安田町中山地区の活性化						●			
30	集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化								●	
31	集落活動センターげいせいを拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり									●

計画Ver. 2 (R3年度) の対比表

【安芸地域】

室戸市	安芸市	東洋町	奈半利町	田野町	安田町	北川村	馬路村	芸西村	No.	改定案(令和3年度)
●	●	●	●	●	●	●	●	●	1	安芸地域のユズを中心とした中山間振興
●	●	●	●	●	●			●	2	日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト
		●							3	ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興
								●	4	芸西村の白玉糖による地域活性化
●		●							5	土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化
							●		6	馬路の林業加工品の販売促進
●		●	●	●	●				7	芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大
●									8	室戸海洋深層水による地域産業の推進
●									9	キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大
●									10	室戸市中心市街地の活性化
	●								11	安芸本町商店街を中心とする地域の活性化
		●							12	海の駅東洋町を拠点とした地域振興
		●							13	有害鳥獣等を活用したペットフードの開発と販路開拓
			●						14	地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大
				●					15	田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用
				●					16	道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取り組み
					●				17	やすだ資源を活かした6次産業化事業の推進
								●	18	地場産品直販所「かっぱ市」等による地域活性化
●	●	●	●	●	●	●	●	●	19	安芸地域の観光振興の推進
			●	●	●	●	●		20	日本遺産を活用した中芸地域の活性化
●									21	室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興
	●								22	岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進
→	●	●							23	東洋町における体験型・滞在型観光の推進
			●						24	奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大
					●				25	安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化
						●			26	北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大
●									27	椎名集落活動センターたのしいなを拠点とした室戸市椎名地区の活性化
					●				28	集落活動センターなかやまを拠点とした安田町中山地区の活性化
							●		29	集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化
								●	30	集落活動センターげいせいを拠点とした”小さくてももっと元気で輝くむら”づくり

拡充
→
統合

安芸地域アクションプランの追加・削除・拡充等（予定項目）

■その他(統合、拡充)

NO.	アクションプラン名	見直しする内容
1	<p>No. 23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進（東洋町）</p> <p>【実施主体】</p> <p>◎（一社）東洋町観光振興協会、東洋町、地元マリンスポーツ等関係事業者、宿泊事業者</p> <p>No. 24 DMV（デュアル・モード・ビークル）を活用した観光振興（室戸市、東洋町）</p> <p>【実施主体】</p> <p>◎（一社）東洋町観光振興協会、◎東洋町、阿佐海岸鉄道㈱、東洋町商工会、NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト、（一社）高知県東部観光協議会、室戸市</p>	<p>【統合・拡充】東洋町における体験型・滞在型観光の推進とDMV（デュアル・モード・ビークル）を活用した観光振興は、体験プログラムの造成や誘客の促進など地域観光の推進という面で一連のものとして取り組む必要があるため、「DMV（デュアル・モード・ビークル）を活用した観光振興」を「東洋町における体験型・滞在型観光の推進」に統合する。</p> <p>あわせて、現在取り組みが進められている、野根川を活用した観光振興も含めた内容に拡充する。</p>

統合項目（案）

統合前①

安芸地域アクションプラン		分野	観光
AP名 (実施地域)	No.23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進 (東洋町)		
実施主体	◎(一社)東洋町観光振興協会、東洋町、地元マリンスポーツ等関係事業者、宿泊事業者		
APへの位置づけ	H25.4月		
事業概要	サーフィンやダイビングなどを中心としたマリンスポーツ等の体験を目的とした修学旅行や企業研修、サークル活動の受入施設を整備するとともに、新たな体験プログラムの開発を行うことにより交流人口の拡大を図る。		

指標	出発点	実績				目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5
体験者数	465人					5,000人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆(一社)東洋町観光振興協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人化に向けたセミナーの実施 (H28) ・地域の頑張る人づくり事業費補助金を活用した地域DMO や観光マーケティングについての研修の実施 (H29) ・観光振興協会事務所兼観光案内所開所 (H31) ・地域おこし協力隊の導入 (H30:1名、R元:1名) ・(一社)東洋町観光振興協会の設立 (R元) <p>◆体験観光プログラムの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家漁家民泊の推進 (H28～) ・14 体験プログラムの開発 (H27～H28) ・海上アスレチック整備 (H30) <p>◆誘客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農山漁村振興交付金の活用 (観光マーケティング調査の実施、観光ポータルサイト、パンフレットの作成、観光プロモーションビデオの作成等) ・観光拠点等整備事業費補助金を活用したサーファー向けアンケート調査の実施、野根川キャンプ場整備等 ・サーフィン大会の誘致 	<p>◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サーファー向けアンケート調査の実施 (H28) ・アンケート結果を踏まえた簡易シャワー、有料駐車場の整備 (H30、R元) <p><主な成果></p> <p>◆農林漁家民泊の受入世帯数・人数 H28 : 10軒 34人 → H30 : 37軒、150人</p> <p>◆主な4サーフィン大会での参加選手数 H28 : 456人 → R元 : 1,533人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を生かしたさらなる体験プログラムの開発や売り込みの強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆(一社)東洋町観光振興協会の体制強化	事務局体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会：セミナー等でのノウハウの取得、専門家を通じた情報発信のスキルアップ、人材育成 ●東洋町：地域おこし協力隊の派遣等人的な支援、関係人口の活用支援 ●県（地域本部等）：産振アドバイザー等や観光創生塾の活用提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆体験プログラムの開発	体験プログラムの磨き上げ・開発及びガイド育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地元マリンスポーツ等関係事業者：体験プログラムの磨き上げ、開発 ●(一社)東洋町観光振興協会：海上アスレチックの運営強化、体験プログラムの広報、販売 ●県（地域本部等）：産振アドバイザー等や観光創生塾の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
◆誘客の促進	農林漁家民泊の推進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会：セミナー等でのノウハウの取得、専門家を通じた情報発信のスキルアップ ●東洋町：教育旅行の推進 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
	魅力的な観光地域づくり、観光情報の発信・プロモーション				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会：SNSでの発信、マスコミを通じたPR、商談会への出展 ●東洋町：マスコミを通じたPR ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆サーフィン客の拡大に向けた受入体制の強化	サーフィン客に向けた観光情報の発信・プロモーション				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会：SNSでの発信、マスコミを通じたPR ●東洋町：サーフィン大会の誘致及び開催によるPR ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				

統合前②

安芸地域アクションプラン

分野

観光

AP名 (実施地域)	No.24 DMV (デュアル・モード・ビークル) を活用した観光振興 (室戸市、東洋町)
実施主体	◎(一社)東洋町観光振興協会、◎東洋町、阿佐海岸鉄道(株)、東洋町商工会、NPO 法人 ウォーターズ・リバイタルプロジェクト、(一社)高知県東部観光協議会、室戸市
AP への 位置づけ	R2.4 月
事業概要	世界初の DMV の定期運行の開始にあたり、地域資源を生かした体験型観光メニューを充 実させ、周遊プランの造成に取り組むとともに、情報発信を行うことなどにより、滞在時間の延長 及び誘客の促進を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
東洋町主要施設訪 問者数	231,780 人					250,000 人	

これまでの主な動き

<p>〈これまでの取り組みの内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿佐海岸鉄道(株)や高知県及び徳島県の観光・商工団 体等が構成員となっている「あさチエン推進会議」が発足 (R 元) ・あさチエン推進会議が、東洋町及び徳島県海陽町に対 し、事業を提案 (R 元) ・阿佐海岸鉄道(株)が、京都鉄道博物館など各地で DMV を展示 (R 元) ・運行ルート(案)決定 (R 元) 	<p>〈主な成果〉</p> <p>(一社)東洋町観光振興協会が、産振アドバイザーを 活用し、観光コンテンツ開発、プロモーション活動の実施計 画を策定 (R 元)</p> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の誘客・周遊促進 ・観光客の満足度向上 ・DMV の認知度向上 ・甲浦駅の魅力向上
---	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆観光コンテンツの充実	<p>体験プログラム等の造成、磨き上げ、周遊の仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会、(一社)高知県東部観光協議会： 体験プログラムの情報収集・提供、体験プログラムの磨き上げ・造成の支援、周遊プランの検討・造成・販売支援 ●NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト：体験プログラムの磨き上げ ●東洋町：海の駅東洋町レストランにおける DMV 特別メニューの検討、提供 ●県（地域本部等）：産振アドバイザー等や観光創生塾の活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆受入体制の整備	<p>周辺施設や地域との連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会、東洋町、東洋町商工会、室戸市： 観光マップの整備や2次交通の整備検討など観光客の満足度向上に向けた取り組みの推進、あさチエン推進会議への参画による一体的な取り組みの推進、甲浦駅に観光案内のデジタルサイネージ設置 ●県（地域本部等）： 産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆広報活動の実施	<p>プロモーション、イベント等の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会、東洋町、阿佐海岸鉄道(株)、東洋町商工会、NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト、(一社)高知県東部観光協議会： SNS での情報発信、マスコミを通じた PR、旅行会社への売り込み、他の団体や学校等との連携による DMV の運行ルートをフィールドとして実施するイベントの企画・実施 ●県（地域本部等）： イベント等の企画・実施に積極的に関わり、状況に応じた支援や各種支援制度に関する情報提供 				
◆甲浦駅の魅力向上	<p>遊休地などの活用の検討、整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東洋町： 遊休地活用の検討、整備等の実施 ●県（地域本部等）： 甲浦駅に隣接する遊休地の整備へのアドバイスを得るための産振アドバイザー等の活用提案、補助金の活用可能性の検討、その他各種支援制度に関する情報提供 		<p>遊休地の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●東洋町： 鉄道ファン向けイベント等の企画・実施 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、高知県地産外商公社への橋渡し支援 		
<p>【用語】・DMV：列車と車がひとつになった新しい乗り物。15秒のモードチェンジで車体を変身させ、縦横と道路の両方を走行できる。 ・あさチエン推進会議：高知県東洋町と徳島県海陽町を結ぶ阿佐海岸鉄道において、世界初営業するDMV(デュアルモードビークル)を観光資源と捉え、地域の民間団体が独自又は連携して事業を起こすことで、経済効果を最大限に引き出すことを目的として設立した任意団体</p>					

AP名 (実施地域)	No.23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進 (室戸市、東洋町)
実施主体	◎(一社)東洋町観光振興協会、◎東洋町、地元マリンスポーツ等関係事業者、宿泊事業者、阿佐海岸鉄道(株)、東洋町商工会、NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト、(一社)高知県東部観光協議会、室戸市
APへの位置づけ	H25.4月
事業概要	サーフィンやダイビングを中心としたマリンスポーツやDMV(デュアル・モード・ビークル)、野根川といった地域資源を生かした体験型観光メニューの充実、周遊プランの造成など、観光客の受け入れ体制の強化に取り組むことにより、滞在時間の延長及び誘客促進を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
体験者数	465人 (H30)	3,162人		5,000人
東洋町主要施設訪問者数 (1~12月)	231,780人 (H30)	258,497人		250,000人

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆(一社)東洋町観光振興協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光振興協会事務所兼観光案内所開所(H31) ・地域おこし協力隊の導入(H30:1名、R元:1名) ・(一社)東洋町観光振興協会の設立(R元) <p>◆受け入れ体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14体験プログラムの開発(H27~H28) ・農家漁家民泊の推進(H28~) ・海上アスレチック整備(H30) ・観光拠点等整備事業費補助金を活用したサーファー向けアンケート調査の実施、野根川キャンプ場整備等 ・サーファー向け簡易シャワー、有料駐車場の整備(H30、R元) ・体験プログラムの見直し(R2) ・サーフィン大会の誘致 <p>◆DMVを活用した観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・阿佐海岸鉄道(株)や高知県及び徳島県の観光・商工団体等からなる「あさチエン推進会議」発足(R元) ・産業振興アドバイザーを活用し、DMVを活用した観 	<p>光コンテンツ開発、プロモーションの実施計画の策定(R元)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行ルート、ダイヤ、運賃決定(R2) <p>◆野根川を活用した観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生推進交付金を活用した、野根川の自然をテーマとした地域活性化施策を実施(H28~) ・南四国アイランド活性化協議会の設立(R2) ・フランスバスク地方との交流開始(R2) <p><主な成果></p> <p>◆海上アスレチック体験者数</p> <p>R元:2,945人 → R2:2,878人</p> <p>◆農林漁家民泊の受入世帯数・人数</p> <p>H28:10軒34人 → R元:39軒、152人</p> <p>◆主な4サーフィン大会での参加選手数</p> <p>H28:456人 → R元:1,533人</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムの造成や売り込みの強化 ・観光客の誘客・周遊促進
--	--

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆(一社)東洋町観光振興協会の体制強化	事務局体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会： セミナー等でのノウハウの取得、専門家を通じた情報発信のスキルアップ、人材育成 ●東洋町： 地域おこし協力隊の派遣等人的な支援、関係人口の活用支援 ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザー等や観光創生塾の活用提案、各種支援制度の<u>情報提供</u>、関係機関への橋渡し 				
◆受け入れ体制の強化	体験プログラムの磨き上げ・造成、周遊の仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> ●地元マリンスポーツ等関係事業者、NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト： 体験プログラムの磨き上げ・造成 ●(一社)東洋町観光振興協会、(一社)高知県東部観光協議会： 海上アスレチックの運営強化、体験プログラムの磨き上げや造成の支援・広報、周遊プランの検討・造成・販売支援、観光情報の提供 ●東洋町： 教育旅行の推進、マスコミを通じた PR ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザー等や観光創生塾の活用提案、各種支援制度の<u>情報提供</u>、関係機関への橋渡し 				
◆DMVを活用した観光振興	周辺地域等との連携、観光コンテンツの充実、プロモーション <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)東洋町観光振興協会、東洋町、東洋町商工会、NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト、(一社)高知県東部観光協議会、阿佐海岸鉄道(株)、室戸市： あさチェン推進会議への参画による一体的な取り組みの推進、観光マップの整備や2次交通の整備検討など観光客の満足度向上に向けた取り組みの推進、SNS やマスコミを通じた情報発信、旅行会社への売り込み ●東洋町： 海の駅東洋町レストランにおける DMV 特別メニューの提供、<u>甲浦駅の魅力向上</u> ●県（地域本部等）： イベント等の企画・実施に積極的に関わり、状況に応じた支援や各種支援制度に関する<u>情報提供</u> 				
◆野根川を活用した観光振興	プロモーションの推進、受け入れ環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ●NPO 法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト： 体験プログラムの磨き上げ・造成、<u>宿泊環境の整備</u> ●東洋町： <u>ブランディング動画の公開、フランスバスク地方との交流推進、地域産品の開発促進、川口キャンプ場の整備・広報、徳島県海陽町（野根川上流部）との連携</u> ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザー等や観光創生塾の活用提案、各種支援制度の<u>情報提供</u>、関係機関への橋渡し 				

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

農業

AP名 (実施地域)	No.4 白玉糖の生産拡大と新商品の開発 (芸西村)
実施主体	◎芸西村製糖組合、芸西村、集落活動センターげいせい、(有)かつぱ市、生産者グループ
APへの 位置づけ	H24.4月
事業概要	伝統ある芸西村の白玉糖の生産を拡大し、白玉糖を活用した新商品を開発・販売することにより、白玉糖のブランド化を図り、認知度の向上を目指す。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
村内サトウキビ 収穫量	19t					25t	

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆技術を継承する人材の育成

- ・製糖作業への参画を通じた人材確保・育成

◆白玉糖の生産拡大・品質向上

- ・脱葉機導入（H25）
- ・伝承館を改修し、製糖作業の効率化及び製糖時に使用する用具の保管状況が改善されたことによる衛生面の強化（H26）
- ・集落活動センターげいせいが耕作放棄地を活用してサトウキビ栽培を開始（H28～）
- ・品質の統一や効果的な栽培方法の検討を行うため、高知大学農林海洋科学部に委託して圃場で栽培実験を実施（H29、H30）
- ・工業技術センターによる白玉糖の成分分析（R元）

◆体験メニューの磨き上げ

- ・白玉糖炊き上げ体験メニューの実施（H27）
- ・県・芸西村・かつぱ市の3者による体験メニューの内容再検討及び磨き上げ（H28～）

<主な成果>

◆製糖作業参加者の増加

H28：1人 → H30：2人

◆集落活動センターげいせいのサトウキビ栽培面積

H29：5畝 → H30：7畝

◆集落活動センターげいせいのサトウキビ収穫量

H29：1,410kg → H30：2,200kg

<課題>

- ・製糖組合員の高齢化、伝統技術継承者の育成
- ・村内のサトウキビの栽培方法の確立
- ・白玉糖の品質の統一

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆技術を継承する人材の育成	製糖を行う人材の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：集落活動センターがいせいと連携した人材確保、フェイスブックやインターネットの求人サイト等を活用した人材募集、情報発信の強化 				
◆白玉糖の生産拡大・品質向上	製糖技術の継承				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：製造技術の習得、関連する研修等の受講、製糖作業のマニュアル化 				
◆白玉糖の生産拡大・品質向上	白玉糖の生産拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：脱葉機による収穫支援、耕作放棄されたサトウキビ畑の管理、SNS等を通じた製糖組合の取り組みについての情報発信の強化 ●芸西村：就農希望者に対する遊休農地の活用提案 				
	マニュアルの作成	マニュアルに沿った栽培			
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：栽培方法のマニュアル化 ●県（地域本部等）：他地域の状況等に関する情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：マニュアルの磨き上げ ●県（地域本部等）：研修や他地域の状況等に関する情報提供 			
◆体験メニューの磨き上げ	衛生面の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：製糖時の服装等を規定、研修・セミナー等の受講 ●芸西村：HACCP対応のための伝承館改修検討 ●県（地域本部等）：HACCP研修等についての情報提供、HACCP専門家派遣の提案 				
◆体験メニューの磨き上げ	体験メニューの実施・磨き上げ				
	<ul style="list-style-type: none"> ●体験メニュー実施主体：体験メニューの実施、情報発信の強化、ネット予約開始 ●県（地域本部）・芸西村・体験メニュー実施主体：3者の協議によるメニューの検討・磨き上げ 				
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハザップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p> <p>・脱葉機：収穫時にサトウキビの葉を取る機械</p>					

AP名 (実施地域)	No.4 <u>芸西村の白玉糖による地域活性化</u> (芸西村)
実施主体	◎芸西村製糖組合、◎大和リゾート(株)、芸西村、集落活動センターげいせい、生産者グループ
APへの位置づけ	H24.4月
事業概要	伝統ある芸西村の白玉糖の生産を拡大し、白玉糖を活用した新商品を開発・販売することにより、ブランド化を図るとともに、白玉糖を活用した体験型観光を推進し、 <u>認知度の向上と地域の活性化につなげる。</u>

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
村内サトウキビ収穫量	19t (H30)	22t		25t
体験プログラム参加人数	<u>21人</u> (R元)	同左		2,000人

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆技術を継承する人材の育成

- ・製糖作業への参画を通じた人材確保・育成

◆白玉糖の生産拡大・品質向上

- ・脱葉機導入 (H25)
- ・伝承館を改修し、製糖作業の効率化及び製糖時に使用する用具の保管状況が改善されたことによる衛生面の強化 (H26)
- ・集落活動センターげいせいが耕作放棄地を活用してサトウキビ栽培を開始 (H28～)
- ・ロイヤルホテル土佐がサトウキビ栽培 (8a) を開始 (R元)
- ・製糖組合員が HACCP 研修を受講 (R2)

◆体験メニューの造成・磨き上げ

- ・白玉糖炊き上げ体験メニューの実施 (H27)
- ・県・芸西村・かっぱ市の3者による体験メニューの内容再検討及び磨き上げ (H28～)
- ・白玉糖炊き上げ体験メニューのネット予約の開始 (R2)
- ・土佐の観光創生塾を受講し、体験プログラム (さとうきび収穫体験) を造成 (R2)

<主な成果>

◆製糖作業参加者の増加

H28 : 1人 → H30 : 2人

◆集落活動センターげいせいのサトウキビ収穫量

H29 : 1,410kg → R元 : 2,835kg

<課題>

- ・製糖組合員の高齢化、伝統技術継承者の育成
- ・村内のサトウキビの栽培方法の確立
- ・白玉糖の品質向上
- ・体験メニューの魅力向上

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆技術を継承する人材の育成	製糖を行う人材の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合： 集落活動センターがいせいと連携した人材確保、フェイスブックやインターネットの求人サイト等を活用した人材募集、情報発信の強化 				
◆白玉糖の生産拡大・品質向上	白玉糖の生産拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：脱葉機による収穫支援、耕作放棄されたサトウキビ畑の管理、SNS等を通じた製糖組合の取り組みについての情報発信の強化 ●芸西村：就農希望者に対する遊休農地の活用提案 				
◆体験メニューの造成・磨き上げ	マニュアルの作成				
	マニュアルに沿った栽培				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：栽培方法のマニュアル化 ●県（地域本部等）：他地域の状況等に関する情報提供 ●芸西村製糖組合：マニュアルの磨き上げ ●県（地域本部等）：研修や他地域の状況等に関する情報提供 				
◆体験メニューの造成・磨き上げ	衛生面の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合：製糖時の服装等を規定、研修・セミナー等の受講 ●芸西村：HACCP対応のための伝承館改修検討 ●県（地域本部等）：HACCP研修等についての情報提供、HACCP専門家派遣の提案 				
◆体験メニューの造成・磨き上げ	既存の体験メニューの磨き上げと新たな体験メニューの開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●芸西村製糖組合、大和リゾート(株)： 伝承館とロイヤルホテル土佐における既存の体験メニューの磨き上げと新たな体験メニューの開発、情報発信の強化、事業者間の連携強化 ●芸西村： 体験メニュー実施主体との協議によるメニューの検討・磨き上げ ●県（地域本部等）： アドバイザーの活用提案、補助金メニューの紹介、各種支援制度に関する情報提供、広報支援 				

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

水産業

AP名 (実施地域)	No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)
実施主体	【漁業者】◎美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会 【水産加工業者】◎(有)タカシン水産（佐喜浜工場）
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
(1)漁業者による加工品販売額	45万円					300万円	
(2)水産加工業者による加工品販売額	1億円					1.2億円	

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆漁業者による加工品の製造販売 (定置網漁獲物) ・定置網で漁獲される小イカ、ハダカイワシなどの低利用魚の簡易加工品を試行（H26） (近海マグロ) ・室戸沖合鮪漁業船主組合の若手船主を中心として、近海マグロのPRを目的に「土佐室戸鮪軍団」を結成、学校での出前授業や加工品の開発、イベントでの試験販売等の取り組みを開始（H29～） ・マグロの内蔵の加工品開発（H29～）、首都圏飲食店でのフェアメニューやふるさと納税返礼品として採用、アンテナショップや道の駅での販売開始（H30～）</p> <p>◆水産加工業者による加工品の製造販売 ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した水産加工施設の整備及び地域の定置網漁獲物を中心とした加工事業の開始（H21～） ・主力の「しめサバ」に加え、ギフト用漬け商品、メジカフレーク、キンメダイフィレなどの定番商品を販売 ・ふるさと納税返礼品として取り扱い（H27～）</p>	<p><主な成果></p> <p>◆マグロ内蔵の加工品販売額 H29：0円 → H30：45万円</p> <p>◆水産加工品販売額 H22：0.35億円 → H30：1億円</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期間保存できる商品の開発などによる販路拡大 ・製造・販売体制の確立 ・さらなる販路開拓、販売促進 ・生産性の向上、衛生管理体制の強化
---	--

第4期計画における行程表						
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降	
◆漁業者による加工品の製造販売	商品開発、販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ●美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品化の実現、商談会等への参加による販路開拓 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し 			製造体制の検討・構築 <ul style="list-style-type: none"> ●美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 製造体制の検討・構築 ●県（地域本部等）： 産業振興総合補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討 		
	近海マグロのPR <ul style="list-style-type: none"> ●土佐室戸鮪軍団： 各種イベントでの「マグロ解体ショー」の実施やマグロ加工品の販売等による広報実施 					
◆水産加工業者による加工品の製造販売	生産性向上と販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> ●(有)タカシン水産： 販路開拓、商品開発、衛生管理体制の構築 ●県（地域本部等）： 各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介 					

AP名 (実施地域)	No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)
実施主体	【漁業者】◎美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会 【水産加工業者】◎(有)タカシン水産（佐喜浜工場）、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1)漁業者による加工品販売額	45万円 (H30)	50万円		300万円
(2)水産加工業者の販売額	2.5億円 (H30)	2.3億円		3億円

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆漁業者による加工品の製造販売

(定置網漁獲物)

- ・定置網で漁獲される小イカ、ハダカイワシなどの低利用魚の簡易加工品を試行 (H26)

(近海マグロ)

- ・室戸沖合鮪漁業船主組合の若手船主を中心として、近海マグロのPRを目的に「土佐室戸鮪軍団」を結成、学校での出前授業や加工品の開発、イベントでの試験販売等の取り組みを開始 (H29～)
- ・マグロの内臓の加工品開発 (H29～)、首都圏飲食店でのフェアメニューやふるさと納税返礼品として採用、アンテナショップや道の駅での販売開始 (H30～)

◆水産加工業者による加工品の製造販売

(有)タカシン水産

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金を活用した水産加工施設の整備及び地域の定置網漁獲物を中心とした加工事業の開始 (H21～)
- ・主力の「しめサバ」に加え、ギフト用漬け商品、メジカフレーク、キンメダイフィレなどの定番商品を販売
- ・ふるさと納税返礼品として取り扱い (H27～)

(有)山本かまぼこ店

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業）を活用した商品開発及び新工場の基本設計等事業の開始 (R2～)

<主な成果>

◆マグロ内臓の加工品販売額

H29：0円 → H30：45万円
→ R元：50万円

◆水産加工品販売額

H22：0.35億円 → H30：1億円
→ R元：0.85億円

<課題>

- ・長期間保存できる商品の開発などによる販路拡大
- ・製造・販売体制の確立
- ・さらなる販路開拓、販売促進
- ・生産性の向上、衛生管理体制の強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆漁業者による加工品の製造販売	商品開発、販路拡大			製造体制の検討・構築	
	<ul style="list-style-type: none"> ●美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品化の実現、商談会等への参加による販路開拓 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産業振興アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し 			<ul style="list-style-type: none"> ●美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 製造体制の検討・構築 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金（ステップアップ事業を含む）の活用可能性検討 	
	近海マグロのPR				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐室戸鮪軍団： 各種イベントでの「マグロ解体ショー」の実施やマグロ加工品の販売等による広報実施 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	生産性向上と販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)タカシン水産、(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓： 販路開拓、商品開発、衛生管理体制の構築 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介 				
	施設整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)山本かまぼこ店： HACCPに対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用の検討等 				

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、◎奈半利なんでも市加工グループ、◎NCL48、◎漁協女性グループ、JA 高知県（安芸地区）
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターが中心となり、地域食材を活用した特産品の企画・開発を促進するとともに、情報発信や販促の強化により奈半利ブランドを確立し、地域経済への波及効果の拡大を図る。

指標	出発点	実績				目標
		R2	R3	R4	R5	R5
(1) JA 加工施設（奈半利味噌）の売上高	677 万円 (H30)					912 万円
(2) 農水産加工施設の店舗売上高	800 万円 (R 元見込)					900 万円
(3) 集出荷センター取扱高	5.4 億円 (R 元.7月～ R2.6月見込)					6 億円 (R5.7月～ R6.6月)

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆地産外商の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興推進総合支援事業費補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入（JA 加工施設）（H26） 新商品開発、担い手人材育成のためのエリアマネジメントを実施（奈半利のおかって、加領郷魚舎）（H26） 地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備（奈半利のおかって、加領郷魚舎）（H28） ネット通販事業の開始（H28～） 複合経営拠点支援事業補助金等活用した集出荷施設の整備（H29） 新商品開発（缶詰）（H29～） 新規通販サイトの立ち上げ（R 元～） 奈半利味噌やイチジクジャム等のとさのさとへの出品（R 元～） 	<p>◆運営体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売促進や運営上の課題等に関する定期的な協議 <p>◆一次産業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業受託用のオペレーター受託（H28～） 農作物の生産開始（H28～） 集落活動センター推進事業補助金を活用した備品整備（H29） <p><主な成果></p> <p>◆ふるさと納税額 H28:20.3 億円 → H30:37.6 億円</p> <p>◆農作業受託件数 H29 : 75 件 → H30 : 89 件</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税に依存しない事業運営体制の構築
--	---

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆地産外商の強化	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 新商品の開発・既存商品の磨き上げ </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、<u>漁協女性グループ</u>： 新商品の検討・開発・販売、既存商品の磨き上げ ● 県（地域本部等）： 新商品開発・既存商品磨き上げのための産振アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> ふるさと納税を活用した地産・外商の強化 </div>				
◆運営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利町、(一社)なはりの郷： ふるさと納税の返礼品となる商品の磨き上げ支援、情報発信の強化 ● 県（地域本部等）： 商品の磨き上げのための産振アドバイザー等の活用提案、各種セミナー等の情報提供 				
	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 通販サイトの充実・通販サイトを活用した特産品販売の強化 </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利町、(一社)なはりの郷： R元開設した通販サイトの企画・運営、サイト内容の充実による特産品の販売促進 ● 県（地域本部等）：通販サイトの運営などに関する産振アドバイザー等の活用提案 				
◆一次産業の振興	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 後継者の確保及び育成 </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● 奈半利なんでも市加工グループ、NCL48、<u>漁協女性グループ</u>： (一社)高知県移住促進・人材確保センターを活用した人材確保、職場環境の見直しや衛生管理技術向上に向けたセミナー等の受講 ● 県（地域本部等）： セミナー等に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆一次産業の振興	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; border-radius: 10px; display: inline-block;"> 農作業受託・新規就農者受入等の推進 </div>				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (一社)なはりの郷、奈半利町： 農作業受託の推進に向けた広報、地域おこし協力隊の募集・活用による人材確保 ● 県（地域本部等）： 農業技術の指導等 				

修正後

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大 (奈半利町)
実施主体	◎(一社)なはりの郷、◎奈半利町、◎奈半利なんでも市加工グループ、◎NCL48、JA 高知県 (安芸地区)
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	集落活動センターが中心となり、地域食材を活用した特産品の企画・開発を促進するとともに、情報発信や販促の強化により奈半利ブランドを確立し、地域経済への波及効果の拡大を図る。

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
(1) JA 加工施設 (奈半利味噌) の売上高	677 万円 (H30)	775 万円		912 万円
(2) 農水産加工施設の店舗売上高	800 万円 (R元見込)	935 万円		900 万円
(3) 集出荷センター取扱高 (7~6月)	5.4 億円 (R元見込)	5.4 億円		6 億円

これまでの主な動き

<これまでの取り組みの内容>

◆地産外商の強化

- ・産業振興推進総合支援事業費補助金の活用による施設の増床及び機械の追加導入 (JA 加工施設) (H26)
- ・新商品開発、担い手人材育成のためのエリアマネジメントを実施 (奈半利のおかって、加領郷魚舎) (H26)
- ・地域づくり支援事業費補助金を活用した加工施設の整備 (奈半利のおかって、加領郷魚舎) (H28)
- ・ネット通販事業の開始 (H28~)
- ・複合経営拠点支援事業補助金等活用した集出荷施設の整備 (H29)
- ・新商品開発 (缶詰) (H29~)
- ・新規通販サイトの立ち上げ (R元~)
- ・奈半利味噌やイチジクジャム等のとさのさとへの出品 (R元~)
- ・奈半利のおかって商品の「地のもん市場ハレタ (土佐市)」への出品 (R2~)

◆運営体制の強化

- ・販売促進や運営上の課題等に関する定期的な協議
- ・うちんくのビジネス塾への参加 (R2)

◆一次産業の振興

- ・農作業受託用のオペレーター受託 (H28~)
- ・農作物の生産開始 (H28~)
- ・集落活動センター推進事業補助金を活用した備品整備 (H29)

<主な成果>

◆農作業受託件数

H29 : 75 件 → R元 : 145 件

◆施設園芸

(一社)なはりの郷の収益確保に向けた自社ハウスの整備 (R元)

<課題>

- ・ふるさと納税に依存しない事業運営体制の構築

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆地産外商の強化	<p>新商品の開発・既存商品の磨き上げ</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●奈半利なんでも市加工グループ、NCL48： 新商品の検討・開発・販売、既存商品の磨き上げ ●県（地域本部等）： 新商品開発・既存商品磨き上げのための産業振興アドバイザー等の活用提案、各種支援制度に関する情報提供 				
	<p>ふるさと納税を活用した地産・外商の強化</p>				
<ul style="list-style-type: none"> ●奈半利町、(一社)なはりの郷： ふるさと納税の返礼品となる商品の磨き上げ支援、情報発信の強化 ●県（地域本部等）： 商品の磨き上げのための産業振興アドバイザー等の活用提案、各種セミナー等の情報提供 					
<p>通販サイトの充実・通販サイトを活用した特産品販売の強化</p>					
<ul style="list-style-type: none"> ●奈半利町、(一社)なはりの郷： R元開設した通販サイトの企画・運営、サイト内容の充実による特産品の販売促進 ●県（地域本部等）：通販サイトの運営などに関する産業振興アドバイザー等の活用提案 					
◆運営体制の強化	<p>後継者の確保及び育成</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●奈半利なんでも市加工グループ、NCL48： (一社)高知県移住促進・人材確保センターを活用した人材確保、職場環境の見直しや衛生管理技術向上に向けたセミナー等の受講 ●県（地域本部等）： セミナー等に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆一次産業の振興	<p>農作業受託・新規就農者受入等の推進</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)なはりの郷、奈半利町： 農作業受託の推進に向けた広報、地域おこし協力隊の募集・活用による人材確保 ●県（地域本部等）： 農業技術の指導等 				

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.18 地場産品直販所「かつぱ市」による地域活性化 (芸西村)
実施主体	◎(有)かつぱ市、芸西村、生産者グループ
APへの 位置づけ	H22.4月
事業概要	地場産品直販所「かつぱ市」において、安定供給の仕組みを作るとともに、集落活動センターがいせいと連携し、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、地域経済の活性化につなげる。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
売上高	1.4億円					1.5億円	

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、リニューアルオープン（H23） 出荷者の搬入の利便性向上のため、施設搬入口を新設（H30） <p>◆新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品「黒みつ」及び黒みつを使用したかき氷を販売開始（H26） 県版 HACCP 第2ステージ認証取得（H28） 6次産業化セミナー参加を通じた、新商品の開発・ブラッシュアップ（H29、R元） 集落活動センターがいせいが製造した白玉糖加工品の販売を開始（R元～） まると高知におけるテストマーケティングの実施（R元） <p>◆地域情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> Instagramを活用し、イベント情報や芸西村の特産品の情報を発信（H29～） 白玉糖炊き上げ体験の実施・情報発信（H27～） 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆6次産業化セミナーを通じた商品開発累計数 H29：6件 → R元：8件 ◆販路開拓 加工品「白玉糖」をとさのさとアグリコレットへ出品 ◆白玉糖炊き上げ体験参加者 H28：9人 → R元：21人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品のさらなる開発 ・商談会への出展等による外商活動・販路拡大の推進
--	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み	新たな商品の取り扱いを検討		品揃えの充実等による新規顧客層の獲得		
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 安定した需給が見込める商品の販売を検討、仕入先との交渉 		<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 新たに取り扱いを開始した商品をメインとするフェアの開催、顧客から要望の多い商品の取り扱いを検討 		
	かっぱ市の魅力向上				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 地域資源を活用したイベントの企画・実施、HACCP 対応のための施設改修の検討 ●県（地域本部等）： 食品関係支援制度やセミナー等の情報提供 				
◆新商品の企画開発及び集落活動センターと連携した外商活動	新商品の企画・開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 地域資源の掘り起こしと活用検討、市場調査、製造方法の検討、試作品づくり、テストマーケティング、レシピ開発 ●県（地域本部等）： 産振アドバイザー活用提案、商品開発に係るセミナーの紹介 				
	外商活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 商談会や展示会への出展、販路開拓 ●芸西村： ふるさと納税での取扱い ●県（地域本部等）： 商談会等の情報提供、高知県地産外商公社への橋渡し支援 				
◆地域情報の発信	地域情報の発信				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： ホームページ等の整備、Instagram 等の SNS を活用した情報発信、パンフレット設置コーナーの充実 				
<p>【用語】・HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハサップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を連続的に監視・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のこと。</p>					

修正後

安芸地域アクションプラン

分野

商工業

AP名 (実施地域)	No.18 地場産品直販所「かつぱ市」等による地域活性化 (芸西村)
実施主体	◎(有)かつぱ市、大和リゾート(株)、芸西村、生産者グループ
APへの位置づけ	H22.4月
事業概要	地場産品直販所「かつぱ市」やロイヤルホテル土佐において、安定供給の仕組みを作るとともに、新商品開発や販路開拓等の外商活動に取り組むことにより、 <u>地場産品の消費拡大を進め、地域経済の活性化につなげる。</u>

指標	出発点	実績		目標
		R元	R2	R5
かつぱ市売上高	1.4億円 (H30)	1.38億円		1.5億円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業振興推進総合支援事業費補助金を活用し、リニューアルオープン（H23） 出荷者の搬入の利便性向上のため、施設搬入口を新設（H30） 6次産業化サポートセンターの支援のもと戦略会議を実施（R2） <p>◆新商品の企画開発及び外商活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 新商品「黒みつ」及び黒みつを使用したかき氷を販売開始（H26） 県版 HACCP 第2ステージ認証取得（H28） 6次産業化セミナー参加を通じた、新商品の開発・ブラッシュアップ（H29、R元） 集落活動センターげいせいが製造した白玉糖加工品の販売を開始（R元～） まると高知におけるテストマーケティングの実施（R元） 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 6次産業化セミナーを通じた商品開発累計数 H29：6件 → R元：8件 販路開拓 加工品「白玉糖」をとさのさとアグリコレットへ出品 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 芸西村の特産品を活用した新商品のさらなる開発 ECサイトの活用等による外商活動・販路拡大の推進
---	---

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み	店舗の魅力向上				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 顧客からの要望の多い商品の取り扱いを検討、HACCP対応のための施設改修の検討 ●大和リゾート(株)： ロイヤルホテル土佐の施設の一部リニューアル、東部地域の商品の取り扱いを強化 ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度やセミナー等の情報提供 				
◆新商品の企画開発及び外商活動	集客に向けたプロモーション				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 地域資源を活用したイベントの企画・実施、地域資源を活用したサービスの検討、ホームページ等の整備、Instagram等のSNSを活用した情報発信 ●大和リゾート(株)： ロイヤルホテル土佐における地域の産品を活用したイベント・フェアの企画・実施、観光案内所設置の検討、Youtube等を活用した情報発信 ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザーの活用提案、各種支援制度やセミナー等の情報提供、広報支援 				
◆新商品の企画開発及び外商活動	新商品の企画・開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市： 地域資源の掘り起こしと活用検討、市場調査、製造方法の検討、試作品づくり、テストマーケティング、レシピ開発 ●大和リゾート(株)： ロイヤルホテル土佐における地域の特産品を活用したレシピ開発、加工品づくり ●県（地域本部等）： 産業振興アドバイザー活用提案、商品開発に係るセミナーの紹介 				
	外商活動				
<ul style="list-style-type: none"> ●(有)かっぱ市：商談会や展示会への出展、販路開拓 ●大和リゾート(株)：ECサイトを活用した地域産品の販路拡大、商談による販路開拓 ●芸西村：ふるさと納税での取扱い ●県（地域本部等）：商談会等の情報提供、高知県地産外商公社への橋渡し支援 					